



保証書付

(裏表紙)

W 節水 洋風タンク密結便器

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになったあともすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

- 保証書に、お買い求めの取扱店名・取付日などが記入されていることを必ずお確かめください。
- この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
- 不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。
- 便座に関する内容は、便座に同梱の説明書に記載してありますので、この説明書とあわせてよくお読みください。

もくじ

安全上のご注意	1
各部のなまえ	7
ご使用方法	8
ご使用上の注意	10
お手入れ方法	13
修理を依頼される前に	16
こんなときは	19
アフターサービスについて	28
別売品のご案内	30
保証書	31

安全上のご注意 (ご使用の前に必ずお読みください。)

- この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告

「この表示の欄の内容を無視して取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意

「この表示の欄の内容を無視して取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害※のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



「注意しなさい!」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)



禁止

この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。

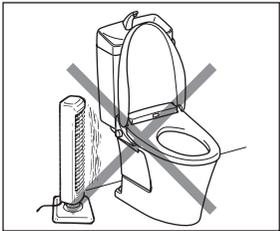


指示実行

この表示は、必ず実行していただく「強制」の記号です。

※ 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

警告

 分解禁止	<p>この説明書に記載された項目以外の分解や修理・改造は行わないでください。</p> <p>※ 止水・吐水不良を起こす原因になったり、器具が破損してケガをする恐れがあります。また、漏水して室内浸水し、家財を濡らす物的損害が発生する恐れがあります。</p>
 火気禁止	<p>ストーブやヒーターなどを近付けすぎたり、タバコや灰皿などの火気類を近付けたりしないでください。</p> <p>※ 破損してケガをする恐れがあります。また、プラスチック類が変色・故障・火災の原因になります。</p> <div data-bbox="733 335 1013 566"></div>

【100V 電源使用の場合】

 禁止	<p>ガタついているコンセントや、アースターミナル付接地極付コンセント以外は使用しないでください。</p> <p>※ 感電・火災の原因になります。</p> <p>電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。</p> <p>※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none">●交流 100V 以外では使用しないでください。●タコ足配線など定格をこえる使いかたをしないでください。 <p>※ 火災の原因になります。</p> <p>雷が発生しているときは、電源プラグに触れないでください。</p> <p>※ 感電の原因になります。</p> <p>給水ホースと電源プラグ、コンセントを接触させないでください。</p> <p>※ 結露などにより、火災や感電の原因になります。</p>
---	--

警告

【100V 電源使用の場合】



濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
※ 感電の原因になります。



電源プラグや、ヒーターコントローラーに水や洗剤をかけないでください。
※ 感電・火災の原因になります。



バスルームなど湿気の多い場所には設置しないでください。

※ 感電・火災の原因になります。



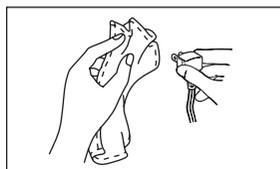
ロータンクおよび給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めてください。(☞ 19 ページ参照)

※ 感電・火災の原因になります。

※ 漏水して室内浸水し、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。

電源プラグにホコリがたまらないよう、コンセントから抜いて定期的に乾いた布でふき取ってください。

※ ホコリが火災の原因になります。



電源プラグの抜き差しは電源プラグ本体を持って行ってください。

※ コード部を持って抜き差しを行うと電源プラグやコードが破損し、感電や火災の恐れがあります。

ヒーターやヒーターコントローラーが破損した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。

※ 感電・火災の原因になります。

電源プラグは根元まで十分差し込んでください。

※ 感電・火災の恐れがあります。

⚠ 注意

便フタや便座、ロータンクの上に乗らないでください。

※ 破損してケガをする恐れがあります。



給水ホースを折り曲げたりつぶしたり、キズをつけたりしないでください。

※ 給水ホースが損傷し、漏水して室内浸水し、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。

プラスチック類の掃除には、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤を使用しないでください。

※ 漏水して室内浸水し、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。また、プラスチック類が破損してケガをする恐れがあります。



ロータンクや便器に背もたれしたり、強い衝撃を与えたりしないでください。また熱湯をそそがないでください。

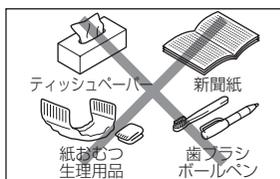
※ 衝撃で破損してケガをしたり、漏水して室内浸水し、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。



便器には、汚物、トイレットペーパー以外のものは流さないでください。

誤って落とした場合は、水を流す前に必ず拾い出してください。

※ 便器が詰まり汚水があふれて家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。

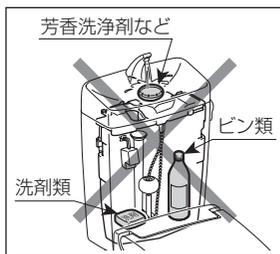


ロータンク内にビンやレンガ、芳香洗剤や薬品などの異物を入れたり、手洗鉢に置いたりしないでください。

※ 芳香洗剤や薬品の成分がロータンクの内部金具を傷め、止水不良や水漏れにより家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。

※ ロータンク内の部品など内部金具に干渉して故障を起こし、止水・吐水不良の原因になります。

※ 水量不足により、洗浄不良・便器詰まりを起こし、汚水があふれて家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。



便フタおよび便座の開閉は静かに行い、衝撃を加えないでください。

※ 衝撃で破損し、ケガをする恐れがあります。



禁止

⚠ 注意



禁止

重量物や先のとがったものを置いたり、落としたりしないでください。

※ 破損してケガをする恐れがあります。また、傷つきの原因になります。



手洗鉢では石けん類を使用しないでください。

※ 石けんの成分がロータンク内部に付着し詰まることで、水があふれ家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。また、内部金具を傷め、止水不良や洗浄不良になる恐れがあります。



陶器にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らず、使用しないでください。

※ 破損部でケガをする恐れがあります。早めに交換してください。



新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜いてください。

※ 配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、ケガをしたり漏水によって建物、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。

長期間使用しない場合は、万一の故障のために止水栓を閉めてロータンク内の水を抜いてください。(☞ 20 ページ参照)

※ 不在時に万一の漏水が発生した場合、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。



指示実行

凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行ってください。

(☞ 20 ページ参照)

※ 凍結破損により室内浸水し、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。

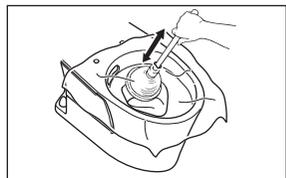
ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてロータンク内の水を抜いてください。(☞ 19 ページ参照)

※ 止水栓を閉めないで水が噴き出し、漏水して室内浸水し、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。

万一詰まった場合には、市販のトイレ用吸引器(商品名: ラバーカップなど)を使って取り除いてください。(☞ 19 ページ参照)

※ 中型(φ 130mm 程度)が最適です。

※ 詰まったまま水を流すと、便器から汚水があふれて家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。



⚠ 注意

床に落ちた小便、水滴、洗剤、水などは必ずよく絞ったぞうきんでふき取ってください。
(☞ 15 ページ参照)

※ 放置しておくくと床にシミを作ったり、腐らせたりする恐れがあります。



便器やロータンクの表面が結露した場合、乾いた布でふき取ってください。
(☞ 11 ページ参照)

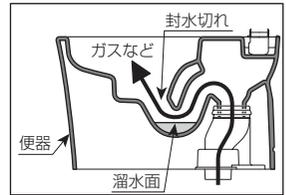
※ 床にシミを作ったり、腐らせたりする恐れがあります。
※ 換気扇を回したり、窓を開けるなどトイレの換気を十分にしてください。



指示実行

便器の溜水面が低下していないことを確認してください。

※ 溜水面が低下していると、封水が切れて下水ガスや塩素ガス、硫化水素ガスといった有毒ガスにより設備・危機が腐食し、物的損害が発生する恐れがあります。(☞ 20 ページ参照)



給水ホースの接続は確実に行ってください。(☞ 24 ~ 26 ページ参照)

※ ソケットや袋ナットの締め付けが不十分ですと漏水の原因になります。

手洗付の場合、ロータンクフタ、手洗接続管を外した際は、元の接続状態に戻してください。また、ロータンクフタを外したまま使用しないでください。

※ 正しく接続されていないと漏水の原因となります。



【100V 電源使用の場合】



禁止

電源プラグやヒーターコントローラーに、便座に使用できる洗剤以外（トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール）は使用しないでください。

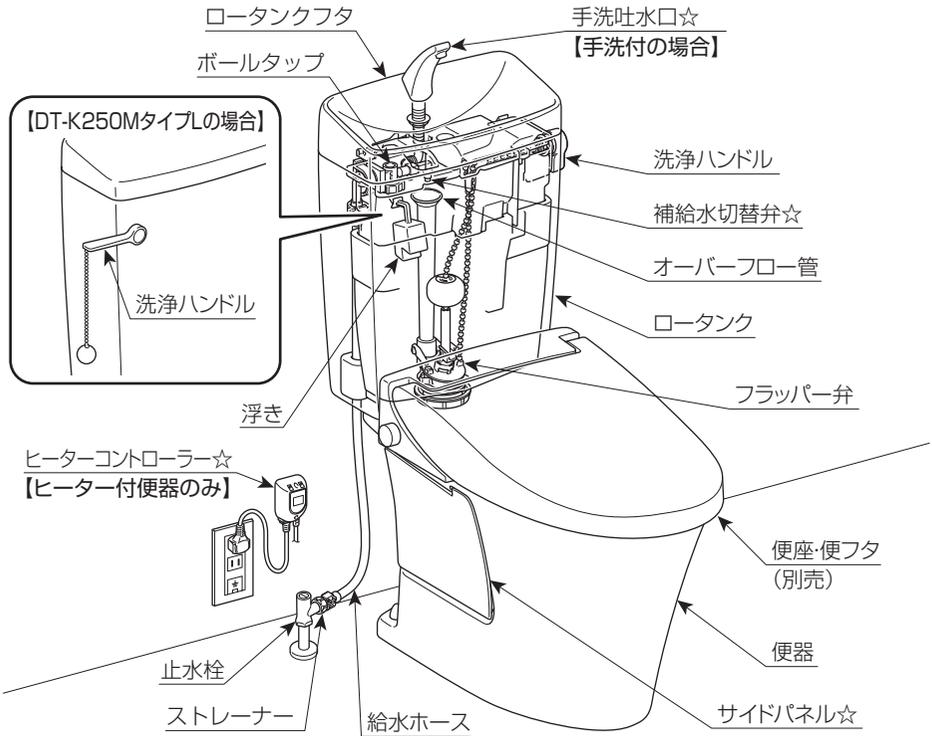
※ プラスチック部が割れてケガをする恐れがあります。



各部のなまえ

■全体図

※機種によっては、一部機能(☆印付)がない場合があります。



【流動式の場合】

流動ダイヤル

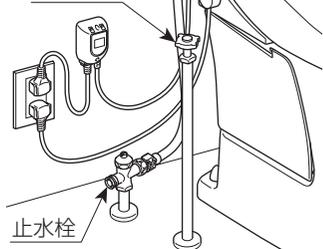


【水抜式の場合】

水抜ダイヤル



水抜栓※



※水抜栓は当社製品ではありません。

ご使用方法

便座については、便座の取扱説明書を必ずご覧ください。

■便器の使いかた

便フタを上げ、便座に腰掛けて使用してください。

※ 男性が小便をする際は、座った状態で行うと便器外への小便跳ねを抑えることができます。

また、座って小便をする際は、便座と便器の間から漏れないようにご配慮ください。

※ 立って小便をすると、便器外へ小便が跳ねる場合があります。



■水の流しかた

使用後は洗浄ハンドルを矢印の方向に回して水を流してください。

小洗浄： 小用の場合にご使用になると洗浄水が少なくてすみます。

大洗浄： 大用の場合にご使用ください。



⚠ 注意

- 女性の小用で紙をたくさん使用した場合、小洗浄で使用されますと紙が流れない場合がありますので大洗浄の方でご使用ください。
- 1 回目に水を流してから間をおかずに 2 回目を流すとうまく流れない場合があります。このようなときは約 20 秒ほどおいてから洗浄ハンドルを操作してください。
- 洗浄水量（1 回の便器洗浄で使用する水量）は、0.2MPa（流動時）の場合のものです（一部商品を除く）。
- 洗浄水量は現場水圧条件や施工条件等により変動することがあります。
- 洗浄ハンドルは途中で止めず、最後まで回してください。
- 洗浄ハンドルを強く引いたり押ししたりすると、破損する恐れがあります。

■断水したときの水の流しかた

便座・便フタを上げて、バケツ 1 杯（5～6L）の水を、水はねに注意しながら一気に流し込んで汚物を排出してください。

最後に、溜水面が正常な状態になるように 1～2L の水をゆっくりそそいでください。

※ うまく汚物が流れないときは流し込みをより早く（短時間に一気に）して、再度行ってください。

※ 小洗浄も同じように流してください。

※ この水量では便器鉢内の汚物を排出することもできても、排水管の途中で汚物が停滞することがありますので、2～3 回の使用に 1 度は、バケツ 2 杯程度の水を流してください。

※ ロータンクに直接水を入れることは避けてください。



⚠ 注意

- バケツで水を運ぶとき、便器へ水を流すときなど、床に水がこぼれないように十分に気をつけてください。
- コンセント部分に水がかからないようにご注意ください。

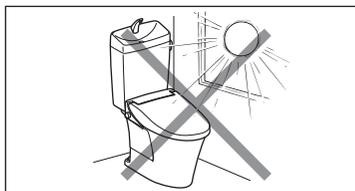
ご使用上の注意

■故障を起こさないために守ってください

⚠ 注意

- 直射日光が当たらないようにしてください。

※ 直射日光によりプラスチック類（便座・便フタ等）が変色することがあります。



- 便器鉢内に汚物が付着して、水を流しても容易に落ちないときは、樹脂製のトイレブラシで掃除してください。（☞ 14 ページ参照）



- 汚物の大きさ、量、比重の違いやトイレットペーパーの量、種類によっては、1 回の洗浄で完全に流れきれずに残ることがあります。大洗浄で 1 度に流すトイレットペーパーの量は 5m 程度を目安にしてください。便器が詰まり汚水があふれる原因になります。なおトイレットペーパーの量については JIS の規格を参考にしております。

- トイレットペーパーの使用量が多いときは排水路でサイホン現象が起き、溜水が少なくなる場合があります。このようなときは再度水を流して便器に水を溜めてください。

※ 便器の溜水が少ないと、便器鉢内の汚れや排水不良、臭気の原因になる場合があります。

- 比重の大きい汚物（バリウムなど含む）は 1 度では流しきれない場合があります。完全に流せない場合は便器鉢内に残ったバリウムおよび汚物を樹脂製のトイレブラシなどで細かくしたあとトイレットペーパーと一緒に流してください。

- 必ずロータンク内が満水になってから流してください。

※ タンク内が満水になる前に流すと洗浄不良や詰まりの原因となり、家財に損害を与える恐れがあります。

- 小便でも使用後は必ず水を流してください。

※ そのまま放置すると小便の成分と水道水の成分が結び付いて固まり、便器の洗浄不良や詰まりの原因となります。

⚠ 注意

- 小さなお子様、お年寄り、身体の不自由な方が使用されるときは、十分に注意してください。

※ 間違った操作や危ないことをすると故障やケガをする恐れがあります。

- クシ、ボールペン、歯ブラシ等を誤って便器鉢内に落とした場合は、水を流す前に必ず拾い出してください。

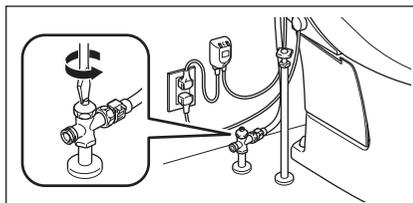
※ 便器が詰まり、汚水があふれる原因になります。



【水抜式で止水栓付便器の場合】

- 止水栓は必ず全開でご利用ください。

※ 凍結の恐れがあります。



- 他社製の温水洗浄便座から泡を噴出するタイプをご使用の場合は、温水洗浄便座メーカーのご使用方法に従ってください。

※ 1回の洗浄でペーパーを流し切れずに残る場合があります。

■ 結露についての注意

室温と便器・ロータンク・止水栓・給水ホース等の表面温度差や湿度により、便器・ロータンクの表面に水滴が生じることがあります（結露）。結露を防ぐためには、換気を十分にしてください。

なお、結露水が生じた場合は、乾いた布でふき取ってください。

※ 結露水は放っておくと床にシミを作ったり、腐らせたりする恐れがあります。

※ 防露タンク、防露便器の場合は結露しにくい構造になっています。

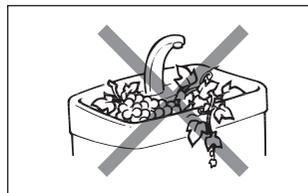


■ KILAMIC 抗菌商品についての注意

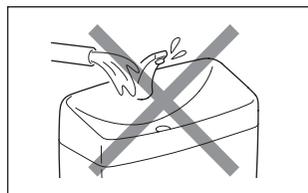
- KILAMIC 抗菌商品は表面に菌が付着したときに抗菌効果を発揮し、菌の働きによる汚れの生成を抑制します。ホコリ・油膜等が表面を覆った場合、この上に付着する菌に対しては十分な抗菌効果を発揮できません。
- KILAMIC 抗菌商品は菌の繁殖を抑制する効果を持ちますが、菌がまったくなくなるわけではありません。したがって、本商品により感染等が完全に防げるわけではありません。

■ 手洗鉢についての注意（手洗付の場合）

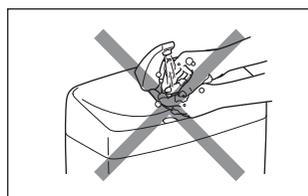
- 手洗鉢に飾り物を置かないでください。
※ ロータンク内に落ちると内部金具に干渉して故障を起こす場合があります。



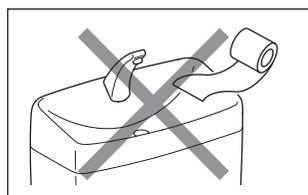
- 手洗金具に水をかけないでください。
※ 手洗鉢から水が飛散し、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。



- 手洗鉢では石けん類を使用しないでください。
※ 石けんの成分がロータンク内部に付着し詰まることで、水があふれ家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。また、内部金具を傷め、止水不良や洗浄不良になる恐れがあります。



- 手洗鉢にトイレトーパーやゴミを流さないでください。また、手洗鉢でぞうきんやモップを洗わないでください。
※ 漏水や止水不良の原因になります。



お手入れ方法

プラスチック類、便器、付属金具、および床はお手入れせずに放置しておきますと、光沢を失うばかりでなく、使用に不具合を生じることにもなりかねません。常日頃からこまめにお手入れをしてください。

なお、クレンザー、磨き粉は表面を傷つけますので使用しないでください。

■プラスチック類のお手入れ

【軽い汚れの場合】

水またはぬるま湯に浸した柔らかい布をよく絞って汚れをふき取る。

【ひどい汚れの場合】

適量に薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、水ぶきする。

- お手入れには当社純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」（別売品）をおすすめします。（☞ 30 ページ参照）

【ヒーター付便器の場合】

- お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

- プラスチック類のお手入れには、以下のものは使用しないでください。

※ 表面を傷つけたり、割れてケガをする恐れがあります。

- ・ 酸性、アルカリ性、および塩素系の洗剤
- ・ シンナー、ベンジン、アルコール等の溶剤
- ・ 金属ブラシ、研磨剤入りのナイロンたわし
- ・ 乾いた布、トイレトペーパー、紙やすり
- ・ クレンザー、磨き粉
- ・ 熱湯



禁止

【100V 電源使用の場合】

- 電源プラグやヒーターコントローラーに、便座に使用できる洗剤以外（トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール）は使用しないでください。

※ プラスチック部が割れてケガの原因になります。

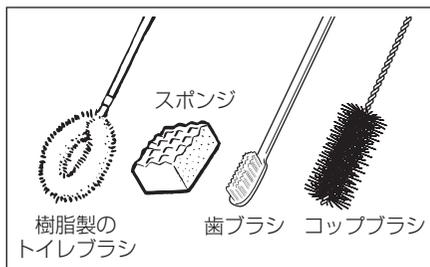


禁止



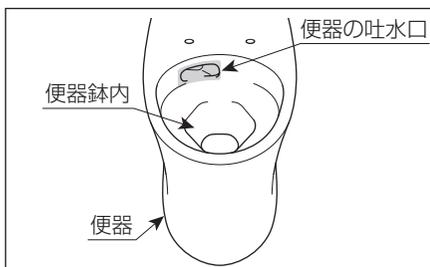
■便器のお手入れ（陶器部）

- 樹脂製のトイレブラシやスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯で洗ってください。
- 当社純正の「お掃除ブラシ」（別売品）をおすすめします。（☞ 30 ページ参照）
- 便器鉢内の狭い部分の汚れについては、歯ブラシやコップブラシ等を使って掃除してください。



【フチレス便器の場合】

- 便器の吐水口は歯ブラシなどの小さめのブラシでお掃除することをおすすめします。



⚠ 注意

- 熱湯は使用しないでください。
 - ※ 便器が破損してケガをする恐れがあります。
- 便器を掃除しているとき、洗剤がプラスチック類にかからないように注意してください。また、便器の洗剤が残らないように水ぶきしてから、プラスチック類を戻してください。
 - ※ 洗剤がプラスチック類に付着すると故障の原因になります。
- 便器のお手入れには、次の洗剤・道具は使用しないでください。

- ・強いアルカリ性の洗剤または漂白剤
- ・研磨材入りの洗剤
- ・フッ素系洗剤（フッ素化水素、フッ化アンモニウムを含む）
- ・撥水作用や表面コート作用などがある洗剤やお掃除道具※
- ・金属製や研磨材入りのブラシなど表面を傷つけるお掃除道具



※ 成分が陶器表面を覆ってしまい、防汚性能が十分発揮できなくなります。使用してしまった場合は、中性洗剤やメラミンスポンジで除去することで効果を復元できます。

～アクアセラミック仕様について～

アクアセラミック仕様の場合、便器品番の先頭に「Y」が付いています。

(例：YBC-XXXX)

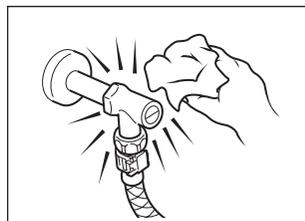
ハイパーセラミック仕様の便器品番は「Y」はありません。

(例：BC-XXXX)

アクアセラミックは親水性が高く、便器鉢内に付着した汚物が落ちやすいですが、お掃除が不要になるものではありません。また、便器鉢内に汚れが残っていたり、汚物の状態によっては落ちづらい場合があります。定期的なお掃除をお願いします。

■止水栓のお手入れ（メッキ部）

- 汚れは乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは水ぶきし、最後にからぶきしてください。
- 月に一度くらいミシン油やカーワックスを染み込ませた布でふくと、輝きを保てます。



⚠ 注意

- 壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄して、メッキ部に酸等が付着した場合は、十分水洗いしてください。
 - ※ 酸性洗剤はメッキを侵します。
- 表面を傷つける恐れがある以下のものは使用しないでください。
 - ・クレンザー、磨き粉等の粒子の粗い洗剤
 - ・ナイロンたわし、ブラシ等
 - ・酸性洗剤、塩素系漂白剤
 - ・シンナー、ベンジン等の溶剤

■床のお手入れ

- 便器から飛び出した小便や結露などによりついた水滴が床に落ちたときは、よく絞ったぞうきんでふき取ってください。
- お掃除の際、床に落ちた洗剤や水もよく絞ったぞうきんでふき取ってください。



⚠ 注意

- 床に落ちた小便、水滴、洗剤、水などは必ずよく絞ったぞうきんでふき取ってください。
 - ※ 放置しておくくと床にシミを作ったり、腐らせたりする恐れがあります。

修理を依頼される前に

■故障かなと思ったら

簡単に故障が直る場合がありますので修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。保証期間内でも有料になることがありますので、下記項目や保証書の記載内容をよくご確認ください。

現象	原因	処置
便器が詰まった	市販のトイレ用吸引器（商品名：ラバーカップなど）を使用し、詰まりを取り除きます。（☞ 5、19 ページ参照）	
バリウムが流れない	比重の大きい汚物（バリウムなど含む）は1度では流しきれない場合があります。	便器鉢内に残ったバリウムおよび汚物を樹脂製のトイレブラシなどで細かくしたあとトイレトーパーと一緒に流してください。（☞ 10 ページ参照）
細かい汚物が残る	便の状態（下痢便など柔らかい軽い汚物など）によってはまれにですが、1度では流しきれない場合があります。	もう一度流してください。
水の流れが悪いまたは、汚物がよく残る	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をしてください。（☞ 23 ページ参照）
	トイレトーパーを多めに流していませんか。	女性の小用で紙をたくさん使用した場合、小洗浄で使用されますと紙が流れない場合がありますので、大洗浄の方でご使用ください。（☞ 8 ページ参照） 1度に流すトイレトーパーの量は、大洗浄では5m程度を目安にしてください。（☞ 10 ページ参照）
ロータンクへの給水時間が長い	止水栓が十分開いていますか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4回転程度戻します。（☞ 19 ページ参照）
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をしてください。（☞ 23 ページ参照）
便器鉢内に水がチョロチョロと流れ続ける（水が止まらない）	【流動式便器の場合】 流動ダイヤルが開いていませんか。 水を流してから5分以内に水が止まるようでしたら、故障ではありません。便器の溜水を確認するための補給水です。	流動ダイヤルを回して流動を解除します。（☞ 21 ページ参照）
便器鉢内に多くの水が1分以上流れ続ける	フラッパー弁が外れている可能性があります。	止水栓を閉めたあと（☞ 19 ページ参照）、LIXIL 修理受付センターへご依頼ください。（☞ 29 ページ参照）
洗浄ハンドルを回しても水が流れない	フラッパー弁の玉鎖が切れている可能性があります。	止水栓を閉めたあと（☞ 19 ページ参照）、LIXIL 修理受付センターへご依頼ください。（☞ 29 ページ参照）
ロータンクまたは便器下部に水滴が付いている	湿度が高く結露した可能性があります。	こまめにふき取ってください。また、換気を十分にしてください。（☞ 11 ページ参照）

現象	原因	処置
床が濡れている (便器表面や止水栓は濡れていない)	尿が便器を伝って床に垂れた可能性があります。	よく絞ったぞうきんで床をふいてしばらく様子をみてください。
水を流すと「ゴボゴボ」と音がする	故障ではありません。汚物を便器から排出する際に、空気も同時に巻き込むためゴボゴボと音が発生します。	ゴボゴボと音が2秒以上続く場合は、通気管等を設置することで軽減できる場合があります。工事された業者さまへご相談ください。
水を流す音がうるさい	故障ではありません。便器の機種によって洗浄方式が異なり、一般的にサイホン現象が発生する便器は、他の洗浄方式の便器よりも大きな洗浄音がします。	
ロータンクへ給水中に、ロータンクから「コツコツ」と音がする。	故障ではありません。水抜操作や連続洗浄をしたり、洗浄ハンドルを長時間回した状態で保持すると、ロータンク内の水位が通常より低下します。その際、ロータンク内の浮玉がロータンク内部に接触し、音が発生する場合があります。ご使用方法に沿ってご使用ください。(☞ 8 ページ参照)	
水を流した後に床下の排水管から「ポタポタ」と音がする	故障ではありません。 便器の排水が床下にある排水管に落下する音です。	
水を流した後にロータンク内から「ゴトツ」という音がする	故障ではありません。 水を流し終わった際にロータンク内で発生する音です。	
便器洗浄後に「ドン」と音がする	給水止水時に配管内でウォーターハンマーが発生している可能性があります。	止水栓をマイナスドライバーなどで右に回し、流量を絞ってください。ただし、絞り過ぎると手洗いに支障が出るため、適度に調整してください。(☞ 19 ページ参照)
溜水面が低い	故障ではありません。 便器の機種によって便器深さが異なり、溜水が少なく見えることがあります。	溜水面の状態を確認し、2～3度水を流しても正常な状態にならない場合はお求めの取扱店へご相談ください。(☞ 28 ページ参照)
便器の水面の大きさが小さい	サイホン式や洗い落とし式といった便器の種類によって水面の大きさが異なります。	
便器底面に照明の反射光が映る	故障ではありません。照明が便器に反射し、底面に模様のようなものが映ることがあります。照明器具を消してご確認ください。	
水を流した時に洗浄した水が跳ねる	便器は勢いよく水を流し、汚物を排出する必要があります。そのため水と水がぶつかり水が跳ねる場合があります。	
小便が跳ね返る	【立ってする場合】 小便が跳ねて外へ飛散し、床や壁を汚すことがあります。 【座ってする場合】 座る位置や小便をする方向によっては、跳ね返ることがあります。	【立ってする場合】 溜水面の中央をねらったほうが小便跳ねを軽減できます。また、座ってご使用いただければ、より小便跳ねは軽減できます。 【座ってする場合】 座る位置をずらすか、トイレットペーパーを敷いていただければ、跳ね返りは軽減できます。
使用時に水が跳ね返る(おつり)	便器鉢内に溜水があることが原因ですが、下水からの臭気を遮断したり、汚物の付着を防ぐための大切な役割があるため構造上避けられない現象です。	あらかじめ、トイレットペーパーを浮かせてご使用いただくと軽減できます。

現象	原因	処置
便器鉢内にジェル状の洗浄剤をつけたら、水を流した時に水が跳ねたり流れが悪くなった。	水の流れが正常な状態から変わってしまっているためです。	ジェル状の洗浄剤を取り除いてください。
便器鉢内にピンク色の汚れがある	空気中のバクテリアが、便器鉢内に付着した汚れを栄養に繁殖したものです。	中性洗剤を使用して掃除してください。繁殖しやすいためこまめなお手入れをおすすめします。
便器鉢内に黒い粗状の付着物ができる	給水管のサビが洗浄時に流れて便器鉢内に付着したものです。	トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、数時間程度付着した部分にあてて放置したあと、布でふき取ってください。
便器鉢内に赤いサビの付着物がある		
水を流した際に、便器鉢内に黒い異物が流れてくる	使用環境等の要因でロータンク内に繁殖したカビがはがれ落ちて流れたものです。	トイレ内が多湿にならないよう換気してください。ロータンク内の清掃は、LIXIL 修理受付センターへご依頼ください。(☎ 29 ページ参照)
便器を掃除していたらスジ状の金属キズがついた(メタルマーク)	便器と金属が接触すると、便器よりも金属が柔らかいためスジ状の線がつくことがあります。キズではなく便器表面に付いている汚れと同じです。	スジ状の線がついた場合は、市販のメラミンスポンジに十分に水を含ませ、こすり洗いをして除去してください。それでも取れない場合は、トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、1 時間程度付着した部分にあてて放置したあと、布でふき取ってください。その後、中性洗剤で洗い流してください。 ※ 洗剤の酸化したガスが故障・破損する原因になるので、便座・便フタは開けたまま、十分に換気をした状態で行ってください。
汚物が付着して取れない	<ul style="list-style-type: none"> ● 幼児や児童等の身長が低い方がご使用になると、座る位置が浅くなり、溜水面の外側に汚物が落ちて付着することがあります。 ● 便の状態や粘性により、便器鉢内の乾燥面だけでなく、溜水内にも汚物が付着することがまれにあります。便器の洗浄水だけでは洗いきれない場合があります。 	樹脂製のトイレブラシなどで掃除してください。(☎ 14 ページ参照)
手洗い水が少ない	止水栓が十分開いていますか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4 回転程度戻します。(☎ 19 ページ参照)
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。(☎ 23 ページ参照)
大洗浄と小洗浄の洗浄水量に差がないように感じる	故障ではありません。大洗浄と小洗浄では洗浄水が約 1L ~ 2L 異なりますが、この水量差を見た目で区別することは非常に困難です。また、大洗浄と小洗浄の洗浄時間も大差ありません。そのままご使用ください。	
【フチレス便器の場合】 便器の吐水口の奥に水が溜まる	故障ではありません。構造上、目視できる場所に水が溜まる場合があります。	

こんなときは

■漏水や水が止まらない場合

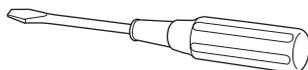
止水栓をマイナスドライバー等で右に回して、ロータンクへの給水を止めます。

※ 水抜式便器をお使いの方は水抜栓を操作してロータンクへの給水を止めます。

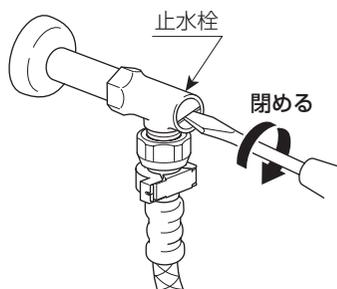
⚠ 注意

- 止水栓を閉めた後、再び開く場合は必ず全開にして、1/4 回転程度戻してください。
- 止水栓のマイナス溝は樹脂製ですので、キズを付ける恐れがあります。以下の点に注意してください。
 - ※ マイナス溝にあうマイナスドライバーを使用してください。
 - ※ 必要以上に閉めすぎないでください。

使用工具



マイナスドライバー



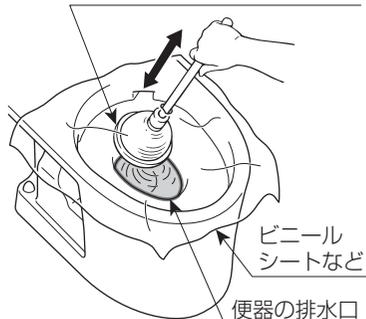
■便器が詰まった場合

市販のトイレ用吸引器（商品名：ラバーカップなど）を使用し、次の要領で詰まりを取り除いてください。

便器の排水口をふさぐように、ラバーカップを静かに押し付け、勢いよく手前に引きます。排水が引き込まれるまでこれを数度繰り返してください。このとき、周囲に汚水が飛び散らないよう、ビニールシートで便器を覆うことをおすすめします。

ラバーカップは中型（φ 130mm 程度）が最適です。

市販のトイレ用吸引器
（商品名：ラバーカップなど）



■長期間使用しない場合

- 止水栓を閉めてください。(☞ 19 ページ参照)
- シャワートイレ・暖房便座・ヒーター付便器をお使いの場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。
 - ※故障発生時に被害が大きくなる恐れがあります。
- 蒸発による封水切れの恐れがあります。定期的に封水を補充するか、便器内にたまっている水をすべて抜き、バスタオルなどで排水口をふさいでください。
 - ※封水が切れると、下水管からの臭気や有毒ガス、腐食ガス、昆虫などがトイレに入り、家屋・建物、家財への損害や便器・設備機器の故障、健康被害を生じる恐れがあります。
 - ※バスタオルなどでふさぐ場合は、大きな布でしっかりふさいでください。(下水配管から、異臭や害虫などが侵入する恐れがあります。)
 - ※バスタオルなどを流さないでください。(排水管つまりの原因となります。)

～凍結の恐れがある地域の場合～

凍結破損防止のため洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を完全に抜きます。また、便器内にたまっている水をすべて抜き、凍結しないようにしてください。水を抜いた後に、便器鉢内に不凍液を入れる、もしくはバスタオルなどを詰めて、排水口をふさいでください。

- ※ 不凍液はそのまま流さないでください。(不凍液は、便器ご使用開始前に回収し、廃棄処理してください。浄化槽への悪影響や、環境汚染などの恐れがあります。)
- ※ 水抜き式便器の場合は 21 ページを参照してください。
- ※ 水抜き式便器以外の場合は、洗浄ハンドルをしばらく回したままにしてロータンク内の水を完全に抜いてください。

⚠ 注意

【トイレ内の使用限界温度について】

- 凍結防止をしていただいても、下記条件からはずれると凍結する恐れがありますのでご注意ください。
 - ・ 流動式便器の場合 …………… 10℃以上
 - ・ ヒーター水抜き併用式便器の場合 …… 15℃以上
 - ・ 上記以外の便器 …………… 0℃以上
- ※環境条件により使用限界温度が変わることがあります。

■冬期凍結の恐れがある場合

冬期凍結の恐れがある場合は、以下の処置を行ってください。

※凍結した場合、ロータンクや便器が破損する原因になります。

～凍結防止方法～

【標準式便器の場合】

室内を暖房して、ロータンク内や便器内の溜水を凍結させないようにしてください。

【流動式便器の場合】

1. 流動ダイヤルを時計回りに止まるまで回します。

※操作から約 1 分後にロータンク内の水が絶えず便器内に流れるようになります。流動状態を解除するには、流動ダイヤルを反時計回りに空回りするまで回して戻します。



【水抜き式便器の場合】

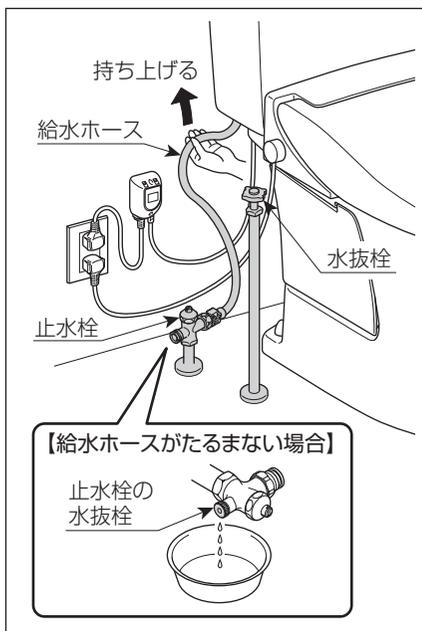
1. 室内を暖房し、水抜き栓を操作してロータンクへの給水を止めます。このとき止水栓付便器の場合、止水栓は全開のままにしておきます。

(ヒーター水抜き併用方式便器の場合は室内暖房の必要はありません。)

2. 給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。

【給水ホースがたるまない場合】

右図の通り、止水栓に付いた水抜き栓を操作してホース内の水を抜く方法もあります。



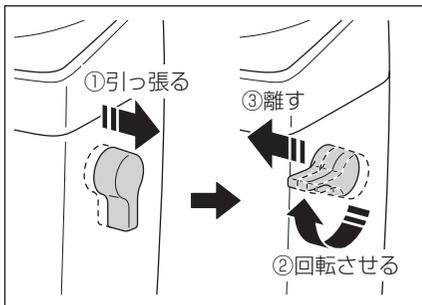
⚠ 注意

- 止水栓に付いた水抜き栓で水抜き操作後はしっかり閉めてください。

※ 漏水して室内浸水し、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。

3. 洗浄ハンドルを操作してロータンク内、配管内の水を抜いてください。

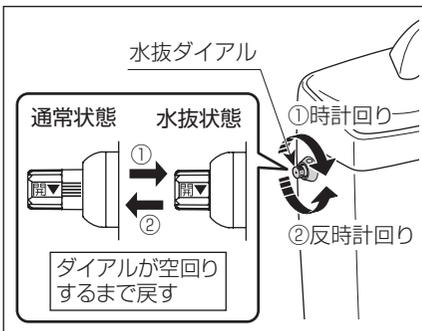
- ① 洗浄ハンドルを横に引っ張ります。
- ② 手前に回します。
- ③ 洗浄ハンドルが水平になったら手を離します。
- ④ 洗浄ハンドルが水平にロックされていることを確認します。



4. 水抜ダイヤルを時計回りに止まるまで回した後、反時計回りに空回りするまで回して戻します。

※この操作により、ロータンク内の水がより抜けやすくなります。

5. 再使用時は、洗浄ハンドルの位置を垂直に戻してから、水抜栓を操作してロータンクへの給水を行ってください。

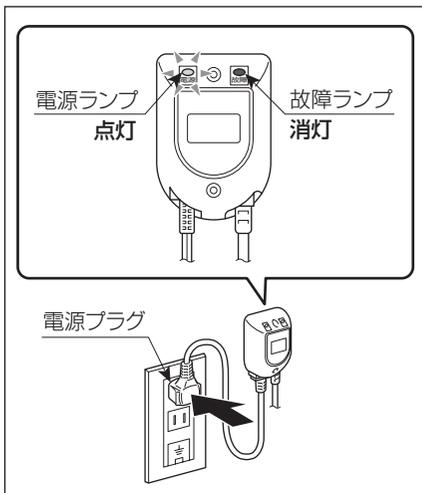


【ヒーター付便器の場合】

ヒーター付便器の場合は、さらにヒーターの電源プラグをコンセントに差し込みます。このとき電源ランプが点灯、故障ランプが消灯していることを確認してください。

⚠ 注意

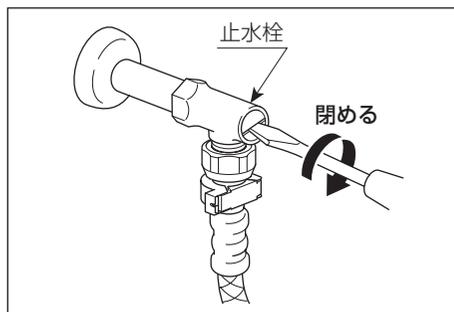
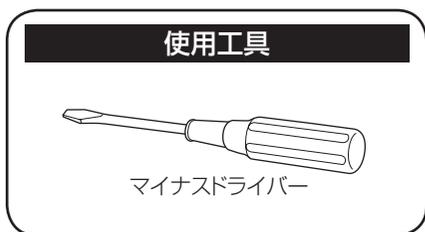
- 故障ランプが点灯したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、取扱店または当社支社やお客さま相談センターへ連絡してください。



■ロータンクへの給水時間が長くなった場合

ストレーナーのゴミ詰まりが原因と思われるので、以下の手順でストレーナーのゴミを取り除いてください。

～ストレーナーの洗浄方法～



1. 止水栓をマイナスドライバー等で右に回して閉めます。(☞ 19 ページ参照)

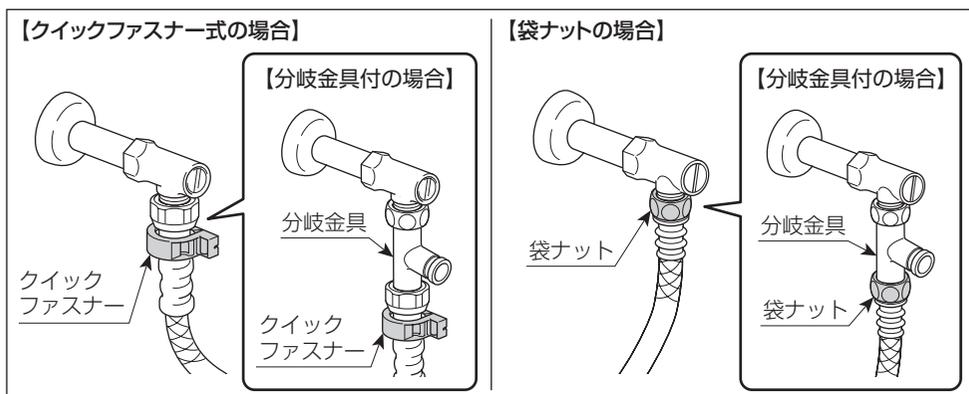
2. 給水ホース接続部の形状を確認します。

※給水ホース接続部は、「クイックファスナー式」と「袋ナット」の2種類があります。

それぞれの手順に従い、ストレーナーを取り外し、洗浄してください。

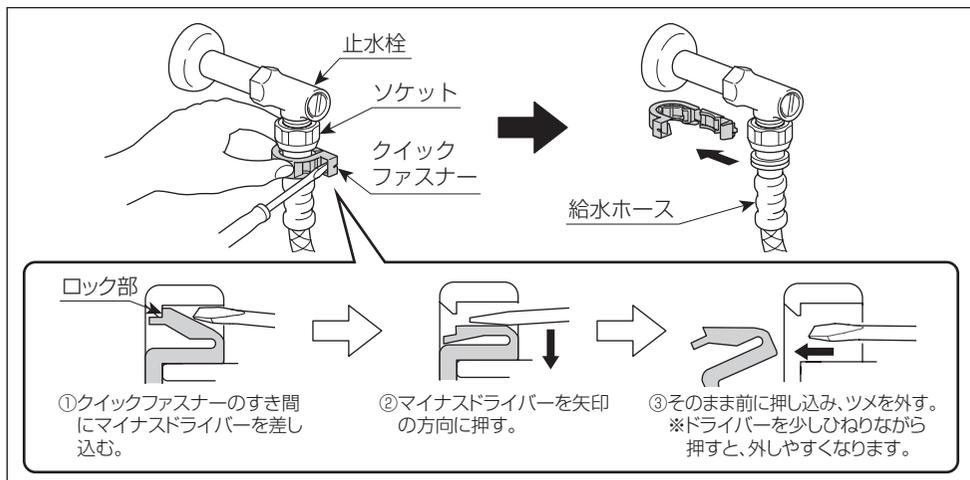
【クイックファスナー式の場合】 …… 24 ページ参照

【袋ナットの場合】 …………… 26 ページ参照



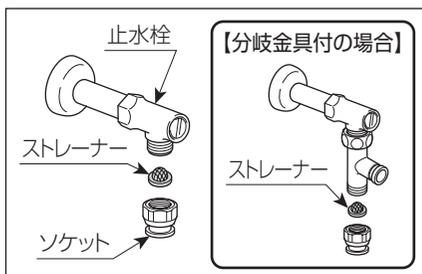
【クイックファスナー式の場合】

1. 給水ホースとソケットを固定しているクイックファスナーをマイナスドライバーを差し込んで外し、給水ホースをソケットから外します。
このとき給水ホース内の水が出てきますので、雑巾などを用意しておいてください。

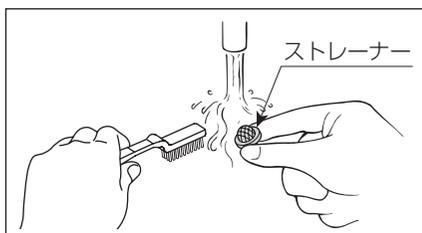


2. ソケットを止水栓から外し、ストレーナーを取り出します。

※分岐金具付の場合は、分岐金具からソケットを取り外します。



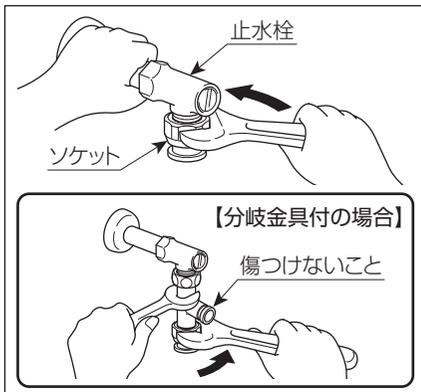
3. ストレーナーを水洗いしてゴミを取り除きます。
4. ストレーナーを「手順2.」の図に示すとおり、位置と向きに注意して、ソケットに取り付けます。



5. 止水栓にソケットを取り付けます。
このとき、ソケットをしっかりと締め付けてください。

【分岐金具付の場合】

分岐金具の六角部にスパナーまたはモンキーを当て、分岐金具を固定し、ソケットをスパナーなどでしっかりと締め付けてください。



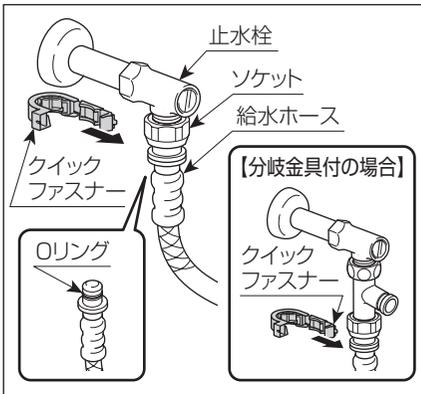
6. 給水ホースをソケットに差し込み、クイックファスナーを差し込みます。

⚠ 注意

- Oリングを傷つけないように注意してください。
※ Oリングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。



指示実行



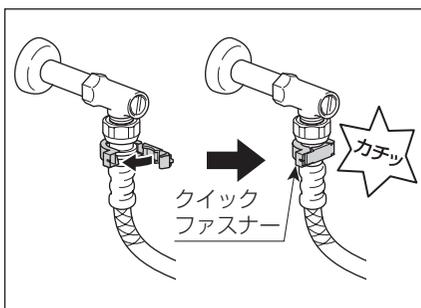
7. クイックファスナーを折り曲げ、給水ホースとソケットを確実に固定します。

⚠ 注意

- クイックファスナーの先端がカチッと音がするまではめ込んでください。
- 取付後にクイックファスナーを回し、確実にハマっていることを確認してください。
※きちんとはまっていないと漏水します。



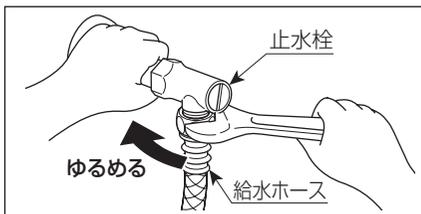
指示実行



8. 止水栓を開け、給水時間を確認します。(☞ 27 ページ参照)

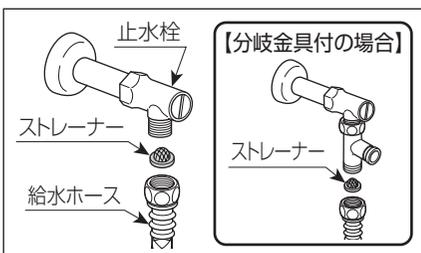
【袋ナットの場合】

1. 給水ホースの袋ナットをゆるめます。
このとき給水ホース内の水が出てきますので、雑巾などを用意しておいてください。

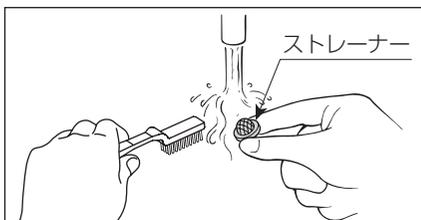


2. 給水ホースを止水栓から外し、ストレーナーを取り出します。

※分岐金具付の場合は、分岐金具から給水ホースを取り外します。



3. ストレーナーを水洗いしてゴミを取り除きます。
4. ストレーナーを「手順2.」の図に示すとおり、位置と向きに注意して、給水ホースに取り付けます。



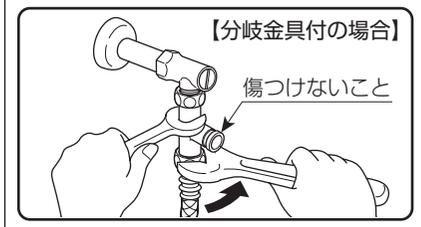
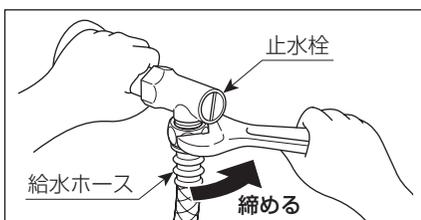
5. 止水栓に給水ホースを取り付けます。
このとき、袋ナットをしっかりと締め付けてください。

※給水ホースがねじれないように注意してください。

【分岐金具付の場合】

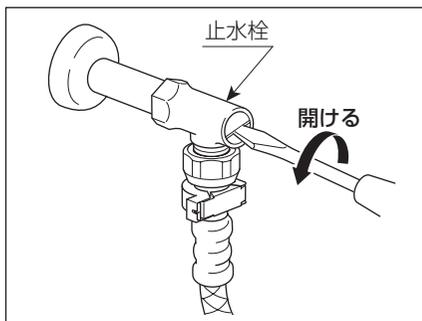
分岐金具の六角部にスパナーまたはモンキーを当て、分岐金具を固定し、給水ホースの袋ナットをスパナーなどでしっかり締め付けてください。

6. 止水栓を開け、給水時間を確認します。
(☞ 27 ページ参照)



～給水時間の確認～

1. 止水栓をマイナスドライバーなどで左に回して全開にし、1/4回転程度戻します。
2. 水を流して、ロータンクへの給水時間が短くなったことを確認します。



⚠ 注意

- 給水ホースの接続は確実にを行い、接続部が漏水していないことを確認してください。
※ 接続部の固定が不十分ですと漏水の原因になります。



指示実行

■ 便器の化粧板が外れてしまった場合（フチレス便器の場合）

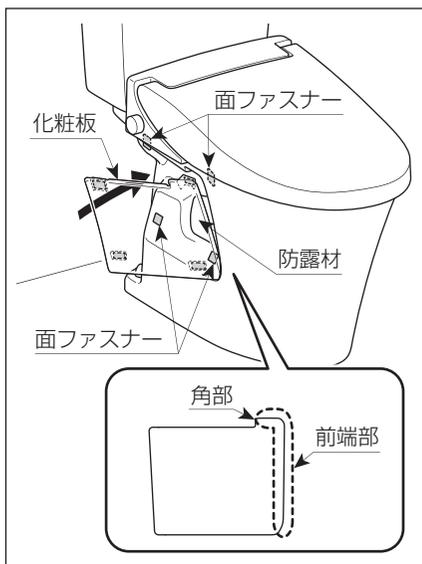
以下の手順で化粧板を組み付けてください。

1. 化粧板の角部と前端部を、陶器に合わせ、前側2箇所の面ファスナーに取り付けます。
2. そのまま化粧板を後側2箇所の面ファスナーに取り付けます。
最後にもう一度化粧板をおさえ、外れないことを確認します。

※ 反対側も同様に組み付けてください。

⚠ 注意

- 防露材は便器の結露防止のための部材なので取り外さないでください。



アフターサービスについて

1. 修理を依頼される前に

「修理を依頼される前に」(☞ 16 ページ参照) の各項目を確認してください。

2. 保証書と保証期間

保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取り付けの日から2年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターに修理を依頼してください。
(連絡先は次ページに記載)

〈保証期間中は〉

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定に従って修理させていただきます。

〈保証期間が過ぎているときは〉

- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

〈修理料金は〉

- “技術料” + “出張料” + “部品代” で構成されています。

〈連絡していただきたい内容〉

- (1) ご住所、ご氏名、電話番号
- (2) 商品名
- (3) 型式番号 [商品に表示 (右図参照)]
- (4) ご購入日
- (5) 故障内容・異常の状況
- (6) 訪問ご希望日



4. 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低 10 年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとでも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

5. アフターサービス等についておわかりにならないとき

使い方・お手入れ方法など、商品についてのお問い合わせは

お客さま相談センターへ

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間： 平日 9:00～18:00
土・日・祝日 9:00～17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。下記番号をご利用ください。

TEL : 0562-40-4050

FAX : 0562-40-4053

修理のご依頼は

LIXIL修理受付センターへ

■ WEBサイトからの修理依頼はこちら

※24時間依頼可能



リクシル修理

検索

<https://www.lixil.co.jp/support/>

■ お電話でも修理を承ります

受付時間 9:00～19:00 **365日受付**

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

別売品のご案内

当社では、快適なトイレ空間作りのお手伝いとして、別売品を用意しております。

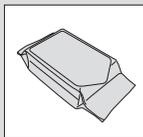
※ 別売品について詳しくお聞きになりたい方は、「お客さま相談センター」へお問い合わせください。(連絡先は 29 ページに記載)

別売品について

〈メンテナンス用品〉

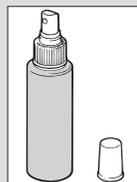
■トイレ用おそうじティッシュ (品番：CWA-36-4SET)

樹脂を傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。
使用後、便器にそのまま流せません。(☎ 13 ページ)



■シャワートイレお掃除クリーナー (品番：CWA-20)

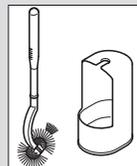
樹脂を傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふき取るだけ。脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。
(☎ 13 ページ)



■お掃除ブラシ (品番：CWA-48、CWA-48-A)

便器の表面を傷つけないブラシです。便鉢の裏まできれいに洗い落とせます。(☎ 14 ページ)

※ CWA-48-A はケースが付きません。



別売品の購入方法

●直接、購入される場合

当社商品の販売店でお願いします。

●宅配サービスを利用される場合

LIXIL パーツショップ水まわり部品販売窓口へご連絡ください。

宅配サービスにてお届けいたします。(宅配サービスでは送料が別途必要となります。)

[ご注文フリーダイヤル]

電話番号 ☎ 0120-126-015

受付時間 9:00 ~ 18:00 (土・日・祝日を除く)

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。

下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

品名：W 節水洋風タンク密結便器 (品番：)

保証期間：取付日より 2 年

取付日： 年 月 日

お客さま おなまえ

様

おところ

おでんわ

無効

() -

無料修理規定（保証規定）

- 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合、本書内にある「アフターサービス」に掲載の、LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。
 - 車両・船舶などで使用した場合の故障及び損傷
 - 施工説明書に指示する方法以外の工事または取付が原因で生じた故障及び損傷
 - 不当な使用や不注意・過失で生じた故障及び損傷
 - 掃除・維持管理上の不備による汚れ・さびなどによる不具合
 - 不当な修理・改造や取付後の移動を行ったことが原因で生じた故障及び損傷
 - 建物の柱・壁・床の変形（強度不足、ゆがみ）など、製品以外の不具合で生じた故障及び損傷
 - 消耗部品（パッキン・電池・電球など）の劣化
 - 公害やガス害（硫化水素ガスなど）、気象条件及び環境条件による現象（凍害・塩害・結露・染みだし・かびなど）、異常水圧・異常電磁波による故障及び損傷
 - 小動物（ねずみ・昆虫など）の行為によって生じた故障及び損傷
 - 火災・地震・水害・落雷、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 戦争・暴動などの破壊行為または犯罪などの不法行為によって生じた故障及び損傷
 - 温泉水・中水・井戸水などの水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことによって生じた故障及び損傷
 - 異物の配管内流入・水あか固着・排水の詰まりによって生じた故障及び損傷
 - 指定外の電源（電圧・周波数）によって生じた故障及び損傷
 - 保証書の期限切れ、または提示がない場合
 - 本書に品番・取付日・お客さまのお名まえ・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または本書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後最低 10 年です。

取扱店

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <https://www.lixil.co.jp/>